

第一期生を送って

学長 斎藤 秀 晃

本学は平成6年4月1日に開学、専任教員22名と看護学科生100名で、『生命の尊厳という価値観に立ち、科学性と豊かな人間性、柔軟な感性を持った資質の高い看護専門家を育成する』を教育理念にスタートしました。そして3年、専任教員が34人、学生は約300名となり、初めての卒業式を迎えることができました。

第一回卒業式は平成9年3月14日に、県知事、上越市長、関係団体、学生家族の臨席のもと、厳粛かつ盛大に執り行なうことができ、関係各位のご尽力の賜物と感謝申し上げます。第一期生は、夢や希望を持って巣立っていきました。

式場で、大学生活での充実感に満ちた一人一人の卒業生の輝いた目を見た時に、この3年間の学内外実習において看護者として必要な知識、技術、技能等を指導、教育、また入学式、戴帽式、その他各種行事等にそれぞれ対応された教職員のひとしれぬ苦労、努力を思い、開学前から大学運営に携わった者として感謝の念から胸に迫るものがありました。

今年度は、新たに専攻科（地域看護学専攻・助産学専攻）を開設し、60人の専攻科生を迎え、専任教員も41名となりました。これにより、一貫した大学教育による質の高い指導的役割の果たせる保健婦(士)、助産婦を養成することができ、さらに社会への貢献をと考えています。

平成9年7月